

第2学年国語科学習指導案

期 日 平成20年11月19日(水)

学 級 2年A組 男子8名 女子13名

授業者 八重樫 真貴子

1 単元名 事実と意見 筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぶ

2 教材名 「モアイは語る ―地球の未来―」 国語2(光村図書)

3 単元について

(1) 単元について

本単元は、「筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぶ」ことを目的とした複合単元になっており、「モアイは語る ―地球の未来―」と「根拠を明らかにして書こう 意見を伝える」、「文法(自立語のいろいろ)」、「漢字(熟語の成り立ち)」から構成されている。

「モアイは語る ―地球の未来―」は、イースター島で起きた出来事を根拠に「人類が生き延びるために今ある有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」ということを主張した説明的文章である。はじめにモアイ像やイースター島にかかわる様々な疑問を投げかけ、根拠を示しながらそれらの疑問を解決して自らの主張を述べる筆者の論の進め方は、説明的文章の典型的な型を学習するのに適している。

また、生徒にとって、一度は目にしたことがあるモアイが森を消滅させ、文明を滅ぼした象徴であったという発見やそれが人類・地球の未来への警鐘であるとする筆者の主張は驚きであると同時に、説得力があるものと思われる。このような筆者の論理の展開に着目すると同時に、「モアイは語る」という題名を常に意識させ、筆者の論理の展開をとらえさせ、それを自分の表現に生かすようにさせたい。

(2) 生徒について

生徒は1学期に「文化を伝えるチンパンジー」において、事実と考察を読み分け、その関係に注意しながら読むという学習を行ってきた。しかし、この学習では生徒の実態から段落を丁寧に読み取ることに主眼を置いたため、段落と段落の関係や文章全体を概観して読むという点ではまだ十分に力が付いているとは言えない状況である。

そこで本教材においては、冒頭で示される問題提起の文に着目することによって、文章構成をとらえたり、意味段落の小見出しを考えたりすることによって、内容を概観する力を付けさせたいと考える。また、自分の考えを述べることに消極的な生徒が多いことから、昨年度からグループ学習で取り組んできたが、本単元の学習でも、文章構成や小見出しの付け方について、グループで意見交流しながら自分の考えを確かなものにさせたり、意見文を書いたあと、グループでの交流を通して意見文の書き方についてさらに理解を深めさせたりして、他とかかわり合うことのよさを感じさせていきたい

(3) 指導に当たって

第2学年及び3学年の「読むこと」の目標は、「目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てて自己を向上させようとする態度を育てる。」である。また「書くこと」の目標は、「様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。」である。

本単元は、「読むこと」と「書くこと」を扱う複合単元であることから、単元の導入でこの単元を学習する目的を「根拠を明らかにして自分の意見を伝える」ことととらえ、そのために「モアイは語る」で筆者の論理の進め方をとらえ、根拠を明らかにして意見文を書くために必要なことは何かを意識しながら読んでいくという視点を明確にしておきたい。

これまでの指導においては「読むこと」と「書くこと」が切り離され、複合単元の特色を踏まえた指導や生徒に明確な目的をもたせる点で不十分な面があった。そこで、今回は目的意識を明確にもたせて説明的文章を読み、筆者の論理の展開から学んで、自分の立場を明らかにしたり、根拠を明確に示したりして自分の考えをまとめていく力を身に付けさせたい。

4 単元の見通し

【国語に対する関心・意欲・態度】

- ・論理的な文章を読む楽しさを味わい、新たな発見や驚きを通じて、未来に関する自分の考えをまとめようとしている。

【読む】

- ・文章の構成に着目しながら読み、段落の役割や論理の展開の仕方をとらえることができる。
- ・文章中に示された事実や根拠を的確に読み取り、筆者の意見をとらえることができる。

【書く】

- ・意見を支える根拠の示し方や構成の仕方を工夫して、自分の考えをまとめることができる。

【言語に関する知識・理解】

- ・語句の効果的な使い方について理解し、表現に役立てることができる。

5 指導と評価の計画 (全 13 時間)

	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語に関する知識・理解
単元の見通しをもち大まかに内容をとらえる。(1時間)	学習の見通しをもち、モアイ像やイースター島について興味・関心をもって読み進めようとしている。			
段落の役割や論理の展開の仕方をとらえる。(3時間) (本時 2/3)		文書全体を三つの意味段落に分け、導入部分の内容を理解している。		構成の型を理解している。
		第二のまとまりを根拠をもって四つに分けている。		
		第二のまとまりに小見出しをつけ、内容と論理の展開の仕方を理解している。		
筆者の主張を読み取る。(1時間)		筆者の主張を理解し、条件に合わせて要約している。		
テーマに対する自分の立場を明確にする。(1時間)	積極的に根拠をあげ、自分の立場を明確にしようとしている。		テーマにそって自分の立場を決め、根拠となる材料をあげている。	
根拠の順序を考えて構成表にまとめる。(1時間)			自分の意見を伝えるにふさわしい文章の構成を考えて、表にまとめている。	
構成表をもとに、意見文をまとめる。(2時間)			構成表をもとに自分の立場を明確にして意見文をまとめている。	語句の効果的な使い方を考えている。
意見文を交流し、自分の意見文を見直す。(1時間)	交流を通して、自分の意見文を見直し、よりよい意見文の在り方を考えようとしている。		意見文を読み合い、良い点や改善点を話し合いながら、意見のまとめ方を振り返っている。	
活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解する。(2時間)	単語の働きに着目して言葉のきまりを考えようとしている。			自立語の位置や語形、働きを理解し、品詞に分類している。
熟語の成り立ちと用法を理解する。(1時間)	熟語の成り立ちに興味をもち、辞書を使って調べようとしている。			熟語の種類となりたちを理解している。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 第二のまとまりを四つに分け、そこで分けられる理由を交流し合い、文章の構成をとらえることができる。

(2) 本時の評価と具体的評価規準

評価規準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への 手立て
読む能力	第二のまとまりを四つに分け、そこで区切った理由を文章に根拠を求めて、複数の理由を挙げて説明している。	第二のまとまりを根拠をもって四つに分け、交流を通して文章の構成を理解している。	第一のまとまりでなされている問題提起をもとに四つに分けるようにアドバイスする。

(3) 本時の展開

	学 習 内 容	学 習 活 動	◇留意事項 ◆評価
導 入 5 分	1 前時学習内容の想起 2 学習課題の把握	・ 全文の構成、導入部分の内容を振り返る	◇前時の学習の短時間に振り返ることができるよう、ポイントを絞って発問する。
	第二のまとまりの構成をとらえよう		
展 開 40 分	3 構成の把握（個人） 4 構成の確認（グループ） 5 構成の確認（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形式段落ごとに音読し、四つに分けるところに印を付ける。 ・ 分けた理由をワークシートに記入する。 ・ ワークシートに記入したことをもとにグループ内で考えを交流する。 ・ グループごとに、四つに分けた箇所とその根拠を発表する。 ・ グループの発表の差異を明らかにして構成を確認する。 ・ 話し合いの後、構成について確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ◇机間指導により、自分の考えを明確にもたせるようにする。 ◇グループ内での話し合いの進め方やまとめ方について説明する。 ◆根拠をもって四つに分け、自分の考えを述べているか。 ◇発表の前に、よいモデルと悪いモデルを示し、発表の仕方を確認する。 ◇分け方が違う場合は、その根拠を発表させ、より説得力のある根拠について考えさせる。 ◆話し合いを通して、四つに分ける根拠を理解し、文章構成をとらえることができたか。
終 末 5 分	6 学習のまとめ 7 次時の予告	・ ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己評価の観点を明確に示すようにする。 ◇小見出しについて考えることを伝える。

第二のまとめりの構成をとらえよう

頑張りましょう。
 ◎四つに分けて、理由を書く。
 ○四つに分けて、理由を二つ以上書き、小見出しに必要なキーワードを考える。

個人	「グループ」	全体
形式段落 () 理由 () 小見出し「キーワード」	形式段落 () 理由 () 小見出し	形式段落 () 理由「参考になったもの」 小見出し
形式段落 () 理由 () 小見出し「キーワード」	形式段落 () 理由 () 小見出し	形式段落 () 理由「参考になったもの」 小見出し
形式段落 () 理由 () 小見出し「キーワード」	形式段落 () 理由 () 小見出し	形式段落 () 理由「参考になったもの」 小見出し

○今日の授業を振り返り、たぐり内での話し合いや各グループの発表を聞いて、参考にしたいことや具体的な話し合ってください。